

ボン・ファイア

1 活動の概要等

キャンプファイアには次のような解釈があります。

- ・ 野外生活の中で欠かせない火に対し感謝する活動。
- ・ 野外での生活を楽しむための儀式。
- ・ キャンプでの成果を語り合うまとめの儀式の演出としての火。
- ・ 暖をとりながら語り合う活動。
- ・ 身を守るために火を燃やした野外活動の知識。

そこで、自然環境保護という観点に留意し、また自然の中でゆったりとした時間の確保や参加者の発達段階に応じた自然とのふれあいの機会をねらいとして、ボン・ファイアを行います。

自然の中でたき火を囲みひとときを過ごすことは、自己を見つめること、グループを考えること、そして自然を考えること等、普段あまり経験できない機会を得ることができます。また、静かな夜をやわらかい炎を見つめながら、ゆったりと過ごすことで豊かな感性を培うきっかけにすることもできます。

2 時期・時間

春から秋頃まで活動できます。

60分～90分くらい（やり方によって時間が変わってきます。）

3 活動場所

営火場（すりばち広場、冒険広場、見晴らし広場、つどいの広場）

野外炊飯場 等

4 準備

【ボンファイア】

青少年自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
無線 かまど のこぎり なた スコップ 一輪車	活動に適した服装 細枝 マッチ 懐中電灯 新聞紙 薪 救急薬品 その他必要な物等

5 実施例

いろいろな方法があります。

- 全体で一つの火を囲み実施する方法
- グループごとに火をつくり実施する方法
- 全体の火をグループに分火して実施する方法
- 野外炊飯の残り火にファイア用の薪をつけたして実施する方法
- 個人の火おこし体験からグループの火や全体の火へつなげて実施する方法

いろいろな組み合わせがあります。

- ①語らいを中心にして、たき火を囲んでゆっくりと夜を過ごします。

(グループごと・全体)

- 集合→火おこし→語らい→まとめ→消火→解散→後方づけ
- 火おこし→自由集合→語らい→自由解散→消火→後片づけ
- ②野外学習として自然を積極的に取り入れ、ゆったりとした時間の中で行います。
 - 星空の観察、星にかかわる話、神話を取り入れます。
 - 野外動物に関する話を取り入れます。
 - ネイチャーゲーム（五感を使ったゲーム、夜の音を聞く）を取り入れます。
 - 発達段階に応じた話を取り入れます。
- ③火と生活との関係に着目した活動を取り入れます。
 - 野外炊飯→ボン・ファイア
- ④夜の神秘性を感じ取ると同時に野外生活における火に着目した活動を取り入れます。
 - 野外炊飯→ボン・ファイア→ナイトハイク→ボン・ファイア
- ⑤テーマに沿って、考える時間として設定します。
 - 全体の火（テーマの説明）→グループごとの火（グループの語らい）→全体の火（まとめ）

6 留意点

- ・ボンファイアには、定形がありません。創意工夫と協力で、ねらいに沿った活動を考えてください。
- ・事前の準備には十分時間をとり、余裕をもって実施しましょう。
- ・一日または活動全体を考慮して工夫しながら進めることも有効です。
- ・安全管理には十分留意し、特に火気の取り扱いには十分気をつけてください。